

南丹市小学校再編  
特別委で説明

高齢者サロンやテナント利用

## 吉富小校区が 校舎活用方針

地活用の検討を求め、  
摩気小校区が8月に方  
針決定している。

同日の特別委におけ  
る市などの説明では、  
方針は住民利用を主体  
とした一次活用と、テ  
ナントとする将来的な  
二次活用に分けた。一  
次活用は、空き教室で  
はサークル活動などの  
生涯学習利用を掲げ、  
旧吉富村や吉富小の  
歴史を残す展示施設も  
計画。高齢者のふれ合  
いサロン、グラウンド  
ゴルフ場も盛り込ん  
だ。

二次活用は地域が継  
続的に運営する資金確  
保のため、商業利用を  
含めて民間に一部を有

償貸与するとした。  
ただ跡地が市街化調  
整区域内で、市は「商  
業活動が制限される

恐れがあり、京都府と  
協議したい」と答弁し  
た。

(鈴木雅人)

南丹市の小学校再編  
に伴う廃校跡地をめぐ  
り、市は7日、吉富小  
(同市八木町)の校区  
住民らが、地域の福利  
厚生、生涯学習を柱と  
する校舎活用方針をま  
とめたことを、市議会  
小学校再編対策特別委  
員会で明らかにした。  
地域で運営組織を立ち  
上げ、高齢者サロンや  
サークル活動に使うほ  
か、将来的なテナント  
利用も盛り込んだ。  
市は対象11校区に跡